

## 令和元年度第2回九州森林管理局保護林管理委員会の議事概要

- 1 日時 令和元年10月24日 9:00~12:00
- 2 場所 サン・あもり 大研修室（霧島市隼人町）
- 3 議事
  - (1) 保護林におけるシカ被害の状況及び被害対策について
  - (2) 保護林の保全に係る対応方針について
  - (3) 令和2年度保護林モニタリング調査箇所（案）について
  - (4) その他



### 4 概要及び主な意見等

- (1) 保護林におけるシカ被害の状況及び被害対策について
  - ① 概要  
保護林におけるシカ被害の状況及び被害対策について、事務局から現状報告の後、意見交換を行った。
  - ② 主な意見等
    - ・ 捕獲の効率を上げるため、捕獲後の放置について検討すること。
- (2) 保護林の保全に係る対応方針について
  - ① 概要  
保護林の保全に係る対応方針について審議した。
  - ② 主な意見等
    - ・ シカ被害レベルの高い保護林の優先順位が高い対応方針となっているが、本来の植生が維持されているフロントライン付近（被害地との境）の保護林の対策も重視すべき。
    - ・ フロントラインは必ずしも国有林であるとは限らないので、関係機関との連携が必要である。
    - ・ 優先順位は希少種の生息状況だけでなく、生物群集の視点も入れるべき。

- ・ 同一の保護林の中でもシカ被害レベルや希少種の生息状況が異なるため、同一の保護林内でも優先順位をつけて対策を講ずるべき。
- ・ シカにより森林に深刻な被害が生じていることについて、国民へ普及・啓発することが大事である。

### (3) 令和2年度保護林モニタリング調査箇所（案）について

#### ① 概要

令和2年度に実施する保護林モニタリング調査について、調査箇所選定の考え方及び具体的な調査箇所を事務局から説明し、了承を得た。

#### ○資料一覧

【議事次第・出席者名簿】

【資料1-1】保護林におけるシカ被害の状況及び被害対策

【資料1-2】第2回保護林現地視察報告書

【資料2】九州森林管理局管内保護林の保全に係る対応方針（イメージ）

【資料3-1】令和2年度保護林モニタリング調査箇所（案）

【資料3-2】保護林モニタリング調査計画一覧表

【参考資料1】現地検討会資料

【参考資料2】野生鳥獣と向き合う九州森林管理局の取組

【参考資料3】保護林設定管理要領

【参考資料4】保護林モニタリング調査マニュアル

令和元年度 第2回九州森林管理局保護林管理委員会 出席者名簿

	氏名	所属・役職	
委員	伊澤 雅子	琉球大学 理学部長	欠席
	岩本 俊孝	宮崎大学 名誉教授	
	河野 耕三	綾町役場 エコパーク推進室 照葉樹林文化推進専門監	
	佐藤 和歌子	特定非営利活動法人 森林をつくろう 理事長	欠席
	陣川 雅樹	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所長	欠席
	浜本 奈鼓	特定非営利活動法人 くすの木自然館 代表理事	欠席
	平井 郁明	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 林木育種センター 九州育種場長	欠席
	藤掛 一郎	宮崎大学 農学部 教授	
	横山 隆一	公益財団法人 日本自然保護協会 参与	
	米田 健(委員長)	鹿児島大学 名誉教授	
林野庁	藤岡 義生 (オブザーバー)	経営企画課 国有林野生生態系保全室 森林環境保護班 課長補佐	
九州森林管理局	原田 隆行	局長	
	井口 真輝	計画保全部長	
	河邊 喬	計画課長	
	鑑水 隆憲	計画課 生態系管理指導官	
	松永 雄治	計画課 企画官(森林資源評価担当)	
	下崎 哲也	計画課 森林施業調整官	
	岩下 治喜	計画課 経営計画官	
	藻川 瑞穂	計画課 生態系保全係	
	樋口 浩	計画課 行政専門員	
	長渕 直	宮崎森林管理署都城支署 企画官	
受託者	中園 朝子	(株)九州自然環境研究所 所長	
	城戸 美智子	(株)九州自然環境研究所	
	有馬 宏幸	(株)九州自然環境研究所	

(委員50音順、敬称略)